

1. 個人／団体の別 個人
2. 氏名／団体名 [REDACTED]
3. 連絡先
住所 [REDACTED]
電話番号 [REDACTED]
メールアドレス [REDACTED]
4. 意見
重点施策⑦-17 テレワークの推進
具体的な取組Ⅱ-⑫ テレワークの推進 についてのコメント

「子育て・介護のために休職を余儀なくされている女性や高齢者、チャレンジド等に対し、テレワークの普及・啓発に向け、教育訓練費用に対する助成、在宅勤務雇用を行う事業主への助成金・奨励金の支給等の包括的な支援策を実施。」について、コメントさせていただきます。

女性や高齢者、チャレンジド等を中心としたテレワークの推進を重点施策とすることについては、切実度及び効果の高さという点において、まさに記述の通りであり、ぜひ進めていただきたく思います。

が、「女性」「高齢者」等と限定した制度については、企業としても難しい場合が多く、「女性」「高齢者」等のテレワーカー自身にとっても、利用できる者を限定した制度の場合、活用することが困難であることが、様々な調査の結果、明らかになっています。

また、平日の昼間の時間帯に男性が地域にいることは、災害時等いざというときの支えや、地域を狙った犯罪等の予防になり、まさに“地域の絆の再生”となります。

更に、新興感染症、再興感染症、台風等の際には、男女問わず、テレワークにて業務を継続できることが重要です。

そのため、概要の記述について「尚、在宅勤務雇用施策が、女性、高齢者、チャレンジド等を含む、全社員を対象としていれば、同様の支援策を実施する。」と付記すべきであると思います。

また、在宅勤務制度導入にあたっての懸念材料のひとつであるセキュリティ確保について、「セキュリティの機能を兼ね備え、テレワーカー及び事業主が安心して実施できる環境を提供しようとする企業等に対し、それを推進する。」と加えるべきであると思います。

以上